

市立柏病院建て替え事業 ～目指す公立病院の役割と病院像～

前号でご説明したように、現在、同事業は凍結し、各町会等の皆さんのご意見を伺っています。これにあたり、今号では、建て替え後の新病院が目指す「公立病院の役割と病院像」についてご説明します。

☎医療公社管理課 ☎7134-6795



公立病院の役割

公立病院は、約8,500ある全国の病院の約15%を占め、その主な役割は、地域医療を確保することです。民間病院との大きな違いは、小児医療、救急医療などの不採算医療に取り組むところです。

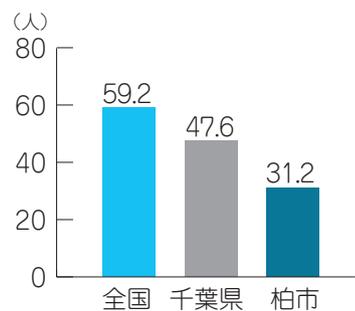
「柏市立柏病院中期構想」同病院に求められる役割

- ▶小児救急医療への対応 … 24時間・365日で患者を受け入れ
- ▶災害医療への対応 … 災害時の協力病院として負傷者等を救護
- ▶感染症医療への対応 … 市保健所と連携して初動対応
- ▶在宅医療支援 … 在宅医療の後方支援
- ▶医療連携の推進 … 他の医療機関との連携

小児救急医療への取り組み～求められる24時間・365日の安心～

市では病院勤務の小児科医が不足しており（別図参照）、特に夜間における小児救急体制は十分とは言えない状況です。小児救急医療の充実は市民からのニーズも高く、公立病院である同病院が特に力を入れて取り組まなければならない課題です。そのため同病院では、小児科医を確保し、24時間・365日の小児救急体制を整備したいと考えています。柏市で安心して子育てができるよう、次世代育成の拠点としていきます。

小児（14歳以下）人口10万人に対する 病院勤務の小児科・小児外科の医師数



（平成22年医師・歯科医師・薬剤師調査、平成22年国勢調査より作成）

※柏市立柏病院中期構想より転載

老朽化した建物の建て替え

しかし、現在同病院には小児の入院施設がなく、また築30年以上が経過し、老朽化・狭隘（あい）化が目立ってきました。今のままでは、医療水準の進展に追いつくことができず、長い将来にわたり公立病院の役割を果たしていくことは困難です。

そこで、同病院を建て替え、中期構想で求められた公立病院としての役割を果たせるよう整備していくこととしました。

経営基盤の確立

同病院の経営の一部には、税金が使われています。今後、小児医療等を拡充していくため、これまで以上に経営を改善していきます。

また、公立病院としてさまざまな疾患の受け皿となり、患者さんが速やかに適切な医療を受けられるように、地域のクリニックや高度救急病院等との幅広い医療連携体制も整備していきます。

柏市の医療の向上に貢献

中期構想策定時に行った市民アンケート調査では、同病院の知名度が低く、また受診経験のない市民が4分の3に上ることがわかりました。今後、「市立病院」として柏市全体の医療に貢献できるよう、質の向上を図るとともに、小児救急など市民ニーズの高い医療に取り組んでまいります。

皆さまの町会等にご意見を聴きに伺います

5月から、同病院の今後のあり方や同事業等に対する市民の皆さんの声をお聴きする取り組みとして、各町会等にお伺いして意見交換会を実施しています。順次、依頼をしていきますので、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

◎「柏市立柏病院中期構想」の内容については、市のホームページか各近隣センターにある資料をご覧ください